

インターネットで知り合うことが増えている現状について

昨今、SNSやオンラインゲームなど、面識のない人と気軽に知り合い、やりとりできるサービスが増えています。これらのサービスは、未成年者の使用率が高く、実際にインターネット(ネット)上で知り合ったことでトラブルに巻き込まれるケースも発生しています。

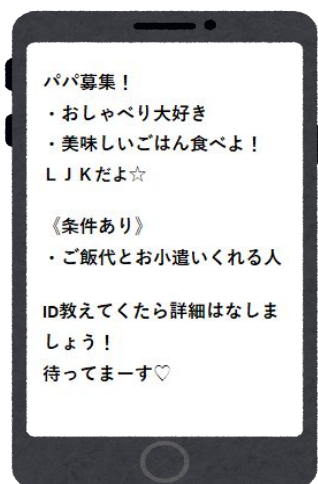
では、どのような時にトラブルに遭うのでしょうか。実際にネット上で知り合った人と会うことでトラブルに遭ったという事例を見てみましょう。

お小遣い欲しさに・・・

A子さんは欲しいものがあり、それを買うお金を稼ぐため、軽い気持ちでSNSに「パパ活相手募集」の投稿をしました。

投稿後すぐに、ある人から返信があり、食事に行くことになりました。

実際に会い、カフェで食事をしていると、急に具合が悪くなり眠くなってしまったA子さん。異変に気付いた店員に助けられましたが、実は、A子さんの離席中にパパ活相手が睡眠薬をA子さんの飲み物に入れたことがわかりました。



SNS上の知人によって誘い出され・・・

C子さんはSNSに「いつもつらい」とつぶやいていました。

ある日、C子さんのつぶやきに対して、励ましたり、元気づけるようなメッセージを送ってくれる人が現れました。

次第にC子さんはその人を信頼し、ダイレクトメッセージ(DM)でやり取りする仲になりました。

ある日、その人から「会ってゆっくり話したい」と言われ、数日後に実際に会いに行きました。

その後、家に帰ってこないC子さんを心配した家族が警察に相談しましたが、C子さんは誰にも言わずに会いに行っていたため、SNSの記録を確認して初めて、C子さんがネット上の人に会いに行ったことがわかったのです。



「ネット上では簡単に嘘がつける」ということは、子供たちも知っているでしょう。それなのになぜ、ネットで知り合った人を信じたり頼りにしてしまうのでしょうか？

それは、家族や友達に知られたくない・言えないようなこともネット上だと気軽に発信できるという感覚に一因があります。自分を知らない人だからどう思われても構わないと考えたり、詮索されず都合が良かったりと、自分をさらけ出しやすくなります。「優しくされた」「親身になって自分の話を聞いてくれた」など、ネット上の嘘に騙され、上記事例のように事件に巻き込まれることが実際に起きています。

「ネット上で知り合った人とは関わらない」とルールを決めても、SNSやオンラインゲームをしている場合、なかなかそのルールを守る子は少ないのが現状です。周りにいる大人が、ネット上の人に深入りしないように子供たちと話し合い、意識して使うように指導し続けることが大切です。

今一度、子供たちと「ネット上で知り合った時に気をつけること」について、話してみてもいいかもしれません。